



20世紀の映像百科事典

# エンサイクロペディア・シネマトグラフィカ

を見る

連続上映会 **11** 子どもからの世界

## 上映プログラム

### ECフィルムより

中央アフリカ バヤカ・ピグミー族 与える 取る 分ける / 1975-80年

中央アフリカ バヤカ・ピグミー族 母子関係 / 1975年

パプアニューギニア トリブリアンド人 3歳半の幼児と遊び仲間との相互関係 / 1984年

南西アフリカ ヒンバ族 幼児と4歳の少女の遊びの発展 / 1985年

南西アフリカ ヒンバ族 少女の1人遊びと幼児による完成 / 1985年

ベネズエラ ヤノマミ族 少女の乳児の世話 / 1983年

### 特別上映

バカ・ピグミーの子供たちによるエロチック・パフォーマンスなど(分藤大翼)

※昭和初期のモノクロ視聴覚教育映像も。お楽しみに!

\*民族名、撮影地名には、現在では用いられない名称がございますが、製作当時の表記を尊重しました。

### ゲスト

**齋藤紘良** (しぜんの国保育園園長兼学童施設長 / 作曲家)

**分藤大翼** (信州大学准教授 / 映像人類学)

# 2015.12.8 火

18:30開場 / 19:00開演

会場: Space&Cafeポレポレ坐

予約: 03-3227-1405 event@polepoletimes.jp (ポレポレタイムス社)

料金: 予約1,500円 / 当日2,000円 (ワンドリンク付)

公益財団法人下中記念財団、ポレポレタイムス社 共催

かつて壮大な映像百科をつくらうと夢見た人々がいた。



本上映会シリーズは、20世紀を代表するこの壮大な映像アーカイブを  
今に生きる私たちの目線で読み直し、虫干して、  
多彩な分野の人々との対話を通して新しい息吹をふき込む試みである。  
これらの映像の中に、私達の未来に必要な宝物を見つけられるかもしれない。



# エンサイクロペディア (EC) シネマトグラフィカとは?

1951年、ドイツ・国立科学映画研究所で、科学映像を  
めぐる一大計画が始まった。「エンサイクロペディア・シネマ  
トグラフィカ」(EC)と題するこのプロジェクトは、世界中の知  
の記録の集積をめざした映像による百科事典。以後30年近くの  
歳月を費やして数多くの研究者・カメラマンが世界各地に赴き、  
現在は失われた暮らしの技法や儀礼などの貴重な記録を含む、  
2000タイトル強の映像アーカイブが制作された。ECはさらに  
各国機関に渡り、日本でも1970年より下中記念財団によっ  
て、アジアで唯一のフルセットの映像が管理・運用されてい  
る。だが21世紀現在、本家ドイツのECプロジェクトは解  
散、日本でも16mmフィルムという記録媒体が障  
壁となり上映会にはほぼ途絶えていた。

## 本上映にあたり

### 短編映像のモザイクの海からさがす宝物

「食べる」「寝る」「子を産む」…さまざまな行動をテーマに、チ  
ンパンジーに爬虫類、微生物から人間までを記録した生物学  
シリーズ。民族学分野では「パン作り」だけで世界40地域の  
タイトルが並ぶ。  
提唱者G.ウォルフは、演出や解説、BGMを徹底的に避け  
て比較を可能にする体系的な映像モザイクを目指し、EC  
は20世紀の民族誌映画のひとつの型を作ったとも言われ  
る。動物行動学の父コンラート・ローレンツ、EC愛好者か  
ら制作者に転身した元テレビ修理工マンフレッド・クルー  
ガーなど、多彩な才能が結集して培われた映像制作の手  
法は後に各国に伝授され、そこから山形国際ドキュメンタリ  
ー映画祭等でも活躍する映画監督が育ちつつあるという。  
ケータイの動画撮影、Youtube映像……あらゆる断片映像  
の波に溺れる私たちの日常。こんな時代だからこそ、映像記  
録の原点ともいえるこの映像の百科事典が、新たな輝きを放  
つに違いない。今まさに、「客観」や「科学」の括りからECアー  
カイブを解き放ち、魅惑の標本箱の宝探しにくり出そう。

## 連続上映会 10 子どもからの世界

人類の一生は、何万年の間、さしたる変化を感じません。子が生まれ、  
成長し、学び、家庭を持ち、伝え、老いて死ぬ。文化によって多少の相  
違はありますが、人生の本質は一貫しています。特に、子育ての本質は  
ホモ・サピエンス以降変わっていないのではないのでしょうか。「強く育っ  
てほしい」という子育ての本質。私たち人類の、古くからの子育ての願  
いはこんな具合にシンプルなはずなのに、つつい余計なこと考えて  
いるうちに、この願いを見失ってしまう。しかし、ECの映像を見ている  
と、見失う前のことを思い出します。そして、「ああ、そうだった、こんな  
だった。」と、何万年も前の、子育ての本質の生まれた瞬間が蘇ってくる  
のです。保育園という場で子どもに日々向き合う齋藤紘良さん、バ  
カ・ビグミーたちが暮らす森をフィールドに研究する分藤大翼さんとど  
もに貴重な映像資料から各所の民族の子育て観をのぞき、人類におけ  
る子育ての本質を考えてみませんか。

## ゲスト

### 齋藤紘良(さいとう こうりょう)

しぜんの国保育園園長兼学童施設長/作曲家。森の循環システム「里山文化」を体現する  
プログラムと、長期にわたりヨーロッパの福祉  
や文化を視察してきた経験をもとに、芸術と  
自然、そして食を基盤とした保育実践を行っ  
ている。映像番組への楽曲提供や様々な場所  
でのワークショップ、他ジャンルのアーティ  
ストとのコラボレーションを行う。子どもと大人  
を文化でつなぐレーベルsaitoconoやソロ活  
動、齋藤紘良&ミラー・ジュ楽団などを主催、チ  
ルドレンミュージックバンドCOINNメンバー、  
季刊誌BALLADをプロデュース。

### 分藤大翼(ぶんどう だいすけ)

信州大学学術研究院総合人間科学系・准  
教授/映像人類学。1996年よりカメル  
ーン共和国の熱帯雨林地域に暮らす  
Baka(バカ)という狩猟採集民の調査研  
究を行っている。2002年より調査集落  
において記録映画の制作を開始。主な映  
像作品は「Wo a bele -もりのなか-」、  
「Jengi」、「Jo joko」。  
主な共著は「フィールド映像術」、  
「commons:schola vol.11  
Traditional Music in Africa」。

## これまでのEC上映会 2012年12月より開催

- 第1回 「屠畜」ゲスト:関野吉晴、北出新司、本橋成一
- 第2回 「アフリカの音楽と芸能」ゲスト:川瀬慈、北中正和、石倉敏明
- 第3回 「かご編み」ゲスト:本間一恵、中川重年
- 第4回 「養蜂」ゲスト:佐治靖、中村純
- 第5回 「仮面」ゲスト:福岡正太、吉田ゆか子
- 第6回 「ECフィルムからのパフォーマンス創造Vol.1」ゲスト:双子の末亡人、川瀬慈
- 第7回 「台所」ゲスト:FENICSメンバー
- 第8回 「木のつくる暮らし」ゲスト:関根秀樹
- 第9回 「雪国の暮らし」ゲスト:林のり子、本橋成一
- 第10回 「音楽の生まれるとき」ゲスト:増野亜子、堀丸岳



2015年12月8日(火) 18:30開場/19:00開演

会場:Space&Cafeポレポレ坐 東京都中野区東中野4-4-1ポレポレ坐ビル1階

予約:03-3227-1405 event@polepoletimes.jp (ポレポレタイムス社) 料金:予約1,500円/当日2,000円(ワンドリンク付)

- 共催:公益財団法人 下中記念財団(平凡社の創立者下中弥三郎を記念し、教育・出版に関する助成を実施)、ポレポレタイムス社
- 企画:EC上映班/下中菜穂(暮らしの自由研究室)、丹羽朋子(FENICS)、ポレポレタイムス社
- 協力:川瀬慈(国立民族学博物館)、岡田一男(東京シネマ新社)、NPO法人FENICS ■宣伝美術:大橋祐介